

【取組内容①】評価基準の児童との共有、振り返りの蓄積による授業実践

4年社会科（地域の発展につくした人々）

- ・評価基準をスプレッドシートで児童と共有して学習の見通しをもたせることで、主体的に学習できるようにした。（図1）
- ・振り返りにフィードバックのコメントを返すことにより、児童が次の学習を調整したり、方法を修正したりできるようにした。
- ・他グループのスライドを参照できるようにし、自己のスライドも共同編集にした。（図2）そうすることで、他者の進捗状況、記載内容を参考にしながら授業時間以外でも児童が進めたいときに学びを進められるようになった。（図3）また、児童同士がスライドのコメント機能を用いて、よいと思ったところや疑問に思ったことを伝えることで、考えの修正や調整を行うことができた。

地いきの発てんにつくした人々	単元を通して身に付けたい力	〇成童兵庫茂安の治水事業について資料をもとに調べて理解し、先人の願いや思いについて考え、先人の努力によって発展した地域に愛着をもつことができる。	
まとめ	今日すること	A評価	B評価
1. 成童兵庫茂安の取組について学ぶ	1	成童兵庫茂安の生き方について調べることができる。	成童兵庫茂安の生き方について興味をもって、進んで調べることができる。
	2	学習問題をつくり、学習計画を立てることができる。	成童兵庫茂安の働きについて疑問に感じたことをもとに、学習問題をつくり、予想し、学習計画を立てることができる。
	3	干葉土層について学び、表にまとめる。	干葉土層について資料から読み取って表にまとめ、当時の様子、人々の願い、工事にはどんな苦労があったか、そして人々の生活はどう変わったかなどを、いくつも調べるができる。
	4	成童兵庫茂安の取組について調べ、表にまとめる。	成童兵庫茂安の取組について資料から読み取って表にまとめ、当時の様子、人々の願い、工事にはどんな苦労があったか、そして人々の生活はどう変わったかなどを、いくつも調べるができる。
	5	成童兵庫茂安の取組について調べ、表にまとめる。	成童兵庫茂安の取組について資料から読み取って表にまとめ、当時の様子、人々の願い、工事にはどんな苦労があったか、そして人々の生活はどう変わったかなどを、いくつも調べるができる。
	6	成童兵庫茂安の取組について調べ、表にまとめる。	成童兵庫茂安の取組について資料から読み取って表にまとめ、当時の様子、人々の願い、工事にはどんな苦労があったか、そして人々の生活はどう変わったかなどを、いくつも調べるができる。
	7	機械を使わない工事を体験する。	機械を使わない工事を体験し、昔の工事の様子や当時の人々の苦労を想像し、表現することができる。
2. 茂安になりきり、児童公園の池復元計画を立てよう	8	課題をつかむ。	児童公園の池の問題点を見つけることができる。
	9	計画を考え、茂安のすいこを見つめる。	課題解決の作戦を、学習したことをもとに考え、表現することができる。
	10	計画を見直し、茂安のすいこを見つめる。	計画を見直し、よりよい計画を考えようとするので、先人の努力を見つけることができる。

児童公園の坂のような場所大きな筒のようなものを作ってパイプなをつなぎ水を出したり止めたりしたらいいと思う。



わたしたちは、川原天満宮の近くの川から、ホースをつなげて水をもってくるという方法を考えています。これを使えば、楽に水を持ってこれると思います。ただ、サイホンの原理を使おうとしているけど、道の高さが合わないから使えないかもしれません。あと、ホースが道路をふさいでしまうという問題点があります。

図2 共同編集でのスライドづくり1

武雄小学校と繁昌ダムをパイプでつなぐ方法

- ・繋ぐときにサイフォンの原理と逆サイフォンの原理を組み合わせ、うまく繋いで武雄小学校と繁昌ダムの間に繋ぐ。

予想図

図3 共同編集でのスライドづくり2

調べたことやもらった資料などは共有し、自分たちの考えに取り入れられるようにした。

・評価基準を共有することと振り返りにコメントをすることにより、児童の意欲が向上し、学習のリズムがよくなったと感じる。他教科でも同様の取り組みを行ったが、家庭学習としての事前の取り組みや自己分析をして次の学習を調整する児童の増加が見られた。一方で、情報量が増えることで、文章を読むことが苦手な児童にとっての負担が懸念される。見やすい資料作成や提示方法の工夫をしていきたい。